



発議第27号
平成27年3月30日

琴浦町長 山下一郎 様

琴浦町議会議長 前田 智章



議会報告会・意見交換会における意見等について

平成27年3月12日に開催した安田地区議会報告会・意見交換会において、下記のとおり参加者から町行政に対しての意見等がありましたので、琴浦町議会報告会実施要綱第9条第3項の規定により通知します。

なお町の方針や見解を質すものについては、質問者へ回答し、ホームページで公開いたしたいと考えておりますので、町の見解をご回答いただきますよう、よろしく願いいたします。

記

1. 小学校の統合について

- ・ 文部科学省が出した基準によると、船上小学校はまだ生徒数が少ない。やっと統合して新たにはじまったところであり、10年以内に再び統合することのないようお願いしたい。

2. 保育園の統合について

- ・ 保育園の統合にかかる説明会が開かれ、統合は間近だと思うが、子どもが少なくなることで統合に動くのではなく、増やすことを考えて欲しい。若桜町の保育料無料化の例など、思い切った政策で人口減に歯止めをかけて欲しい。

3. 介護保険について

- ・ 第6期の計画によると、介護保険料は大幅に上がる。施設が多いので介護費用がかかると説明されたが、人口千人あたりの施設利用率は県平均の80%程度であり、しっかり議論して原因を明らかにすべき。
- ・ 県外から帰ってみると、運動が少ないためか琴浦町には糖尿病の人が多いとを感じる。都会の人は健康に気を使って、よく歩いている。健康寿命を延ばすため教室を開くなどして、健康体操に取り組むべきだし、ウォーキングの習慣を付けて、生活習慣病予防をするべき。

4. 小学校の跡地利用について

- ・ 安田小学校を宿泊型の福祉施設として取り組み、企業に入ってもらおう。また、湯坂に温泉を導入してはどうか。
- ・ 小学校のプールで魚の陸上養殖をしてはどうか。

5. 地域活性化について

- ・ 空き家バンクやインターチェンジの活用など、もっとPRをして欲しい。
- ・ 隠岐の島の海士町のように、小さくても活性化しているところもある。行政と議会で地域が儲かる仕組みを考えて欲しい。
- ・ 大山町は居酒屋に地元産の食材を提供すると新聞に記事が載っていた。琴浦町も材料は豊富な町であり、取り組めることではないか。
- ・ 安田地区地域振興協議会のような組織をつくり、地域が自立していくことを考えてはどうか。未利用の閉校舎は県内に多数あり、どこも悩んでいる。組織が必要だと思う。

6. 税金などの滞納について

- ・ 町の滞納額は大変多額だと聞く。今後、どう対応していくのか。

7. 空き家対策について

- ・ 空き家のアンケート調査に回答したが、取りまとめの結果はどうだったのか。利用については公募するのか。いかに有効利用するかが重要と考える。

8. 農業施策について

- ・ 町の農業施策は大規模農業を対象としている。大規模農家だけでは、日本の農業は成り立たない。小規模農家に対しても、きめ細かい施策をしてほしい。
- ・ 旧態依然としてやっても農業は良くなる。新しい農業のやり方を考えていかななくてはいけない。
- ・ 白鵬、百合白清に期待しているが、海外のバイヤーも入ってきて子牛価格が上昇している。町内の肥育農家には資金力がない。一農家でどこまでやれるのか。町の支援をお願いしたい。